

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 国立公園清掃活動事業補助金
-------------------	----------------------------

区分	番号	名称						
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち						
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる						
施策	1	魅力ある観光地づくり						
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり						
主要な施策	2	観光客のニーズに即応できる受入体制の充実						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事務事業コード</td> <td>31112002</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業開始年度</td> <td>昭和 5 9 年度</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業終了年度</td> <td>- 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	31112002	事業開始年度	昭和 5 9 年度	事業終了年度	- 年度
事務事業コード	31112002	事業開始年度	昭和 5 9 年度	事業終了年度	- 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光施設維持管理経費
------	------	------------	------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 国立公園内の環境美化を図ることで観光客の満足度を高め、観光客の誘客に寄与する。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 市内国立公園内の環境美化を図るため、清掃や小破修繕等を行う(財)自然公園財団に補助金を交付し支援する。 事業費は、国、北海道、市、(財)自然公園財団がそれぞれ1/4ずつ負担。
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 国立公園内の環境美化を図ることで観光客の満足度を高め、観光客の誘客に寄与する。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	/	/	/	/
	宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,164	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	500	500	500	500	500	1,500
合 計			500	500	500	500	500	1,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	87	89			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		87	89			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 国立公園内の環境美化は、観光客の誘客に必要不可欠な事業であり、環境庁、北海道、市で整備した遊歩道等を含めて環境美化活動を行うことが最も効果的であることから、当該法人に対し補助を行うことが最も効果的である。
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 環境美化が観光客数の入込みにどれだけ寄与しているのかの把握は難しいが、国立公園の環境美化は随時図られていることから成果は上がっていると考えられる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 東北大震災の影響により減少している観光客の誘客のため、市や観光協会等が行う事業と合わせて実施することで効果は発揮される。 観光客の増加までには時間が必要。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 環境美化活動には、材料費、人件費、ごみ等処理料等経費が必要であることから、コスト削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	国立公園を含め、登別に観光客を誘致するおもてなし策として、当該活動は必要不可欠であるため、現状を維持することとしたい。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）